

自治体・協議会名	大野市公共交通活性化協議会
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・市広報誌に市内公共交通事業者が取り組む感染予防対策取組を掲載し、公共交通機関の安全性の周知及び利用促進に取り組まれていることを評価します。

期待する取組

- ・道の駅開駅に向けた公共交通の見直しにより、観光客を対象とした近隣市との連携を進められるとともに、生活路線としての役割を担ったダイヤとなっているか随時精査されることを期待します。
- ・幹線系統勝山大野線の輸送量が減少傾向にあることから、隣接市とも連携し積極的な対策推進や利用周知が必要と考えます。また、現在取り組まれている利用促進策等の効果検証や分析を行い、適宜見直しを行うとともに、効果が高いと見込まれる取り組みについて積極的に進め、利用増につなげられることを期待します。
- ・郊外部の住民ニーズを把握されるとともに、郊外部から市内中心地までの交通利便の向上に繋げられるよう、必要に応じて路線の見直しを検討願います。
- ・公共交通における新型コロナウイルス対策を様々なツールを用いて発信することにより、公共交通の安全性を周知され、利用促進につなげられることを期待します。